

1	単元名	ひらがな
---	-----	------

1 指導目標

平仮名の音と形（文字）を連動させて確実に習得させることにより、正しい読み書きができるようにする。

2 指導内容

- (1) 平仮名五十音の発音と筆順を覚えさせる。
- (2) 濁音、半濁音、拗音を覚えさせる。
- (3) 平仮名を組合せた単語を読み書きさせる。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひらがな表」を見ながら、各文字の発音を1回聞く。 ○8ページの練習帳を用いて、「あ行」「か行」各文字の発音と筆順を覚える。 「あ」を筆順どおりになぞる。その後、自分で4回練習する。 ○絵カードを見ながら、「あ」を用いた単語「あり」の発音を指導者の後から復唱させ、文字と意味を覚える。 ○同様の手順で「か行」まで進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が「ひらがな表」を指さしながら、明確な発音でゆっくり読み聞かせる。 ・五十音がアルファベットに相当することを認識させる。 ・最初に指導者が「いち、に、さん」と言いながら筆順どおりに書き、手本を示す。家庭学習用にプリントをコピーし、複数回練習させる。 ・小学1年国語教科書上巻末「ひらがなひょう」を利用し、発音、文字、意味を確認し、語彙を増やす。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○前回までに学習した平仮名を行ごとに書かせ、確認する。 ○69ページから73ページを用いて「さ行」から「ん」までの各文字の発音と筆順を覚える。 「さ」を筆順どおりになぞる。その後、自分で4回練習する。 ○絵カードを見ながら、「さ」を用いた単語「さる」の発音を指導者の後から復唱させ、文字と意味を覚える。 ○同様の手順で「ん」まで進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テストを行うことで、定着度を確認する。 ・最初に指導者が「いち、に、さん」と言いながら筆順どおりに書き、手本を示す。家庭学習用にプリントをコピーして、複数回練習させる。 ・小学1年国語教科書巻末「ひらがなひょう」を利用して、発音、文字、意味を確認し、語彙を増やす。

4 指導のポイント

- (1) 平仮名が、1字1音であることや、アルファベットと同様に文字の組合せで単語が作られていることを指導者が認識する。
- (2) 準備する「ひらがなひょう」は、濁音、半濁音、拗音も載っているものがよい。準備できない場合は、「たのしいがっこう」（東京都教育委員会作成）42ページ、43ページが利用できる。
- (3) 初期段階で、平仮名五十音の発音と文字を連動して覚えさせることは、その後の日本語指導をしていく上で基礎となる。発音、筆順、字形、共に正確かつ確実に習得させる。
- (4) 筆順確認では、必ず指導者が手本を示す。また、小学校低学年が使用する中心線入りマス目を利用して複数回練習させると、字形指導もしやすい。
- (5) 例語の中で、濁音、半濁音、促音を含むものは、その語を学習する際に濁音、半濁音、促音についても指導する。（8実践事例を参照）
- (6) 文字を指導するときに、その文字を含んだ例語を入れると、指導が単調にならず、語彙を増やすきっかけにもなる。

5 期待される成果等

- (1) 平仮名を覚えることで、「読むこと」「書くこと」の学習につなげることができる。
- (2) 文字を覚えた生徒は、自分の氏名を平仮名で書くことができるようになる。また、掲示物などを読もうとする意欲が生まれる。
- (3) 既に自分の名前だけ書ける児童・生徒については、五十音を学習することにより、平仮名が一定の法則に従ってできた文字であることを理解することができる。

6 補充・発展的な学習課題例

- (1) 2行ごとの平仮名学習の翌日に、各行の書き取りテストを行うことで、児童・生徒の学習を図ることができる。
- (2) 平仮名五十音の学習を、一とおり終えた児童・生徒の学習の定着度を確認するため、「ぐるぐるひらがな」を用いてテストを行う。
- (3) 文字を学習するときに活用した絵カードは、聞き取りテストをすることで音と文字の連動が確認できる。
- (4) 小学校1年生の国語の教科書を音読教材として活用する。

7 実践例

〈濁音、半濁音、拗音の実践指導〉

濁音 ・五十音図で清音「は、ひ、ふ、へ、ほ」を見ながら発音する。

半濁音 ・「点々（゛）ある」と言っ、て、「ば行」を指し示しながら、「ば・び・ぶ・べ・ぼ」を発音する。

・「丸（゜）ある」と言っ、て、「ぱ行」を指し示しながら、「ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ」を発音する。

拗音 ・「きゃ」を指し、「小さい『や』ある」と言っ、て、「きゃ」を発音する。

				
				
				
				
				
				
				
				
				
				

ぐるぐるひらがな

★ ^{ぶんに}1分以内に ^{こくかく}できたら合格です。

